令和7年度 夏休み親子議場見学会 開催報告

日 時:令和7年8月3日(日)10:00~12:15

場 所:観音寺市役所5階

参加者:市内在住の小学生18名とその保護者

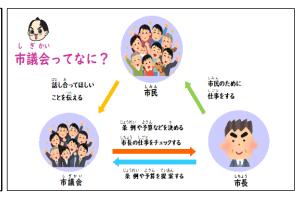
【内容】

1. 1日子ども議員任命式 議長から小学生に一人ずつ任命書を渡し、1日子ども議員 に任命した。



- 2. 学習「市議会ってな~に?」(場所:全員協議会室) 子ども向け市議会ガイド「何がでっきょん!観音寺市議会」を見ながら、以下の内容 を学習した。
 - ① 市議会ってなに?
 - ② 市議会議員ってどんな人?
 - ③ 市議会はどんな仕事をしているの? ⑦ 例えば公園が出来るまで
 - ④ 市議会の活動と流れてみよう
- ⑤ 市議会をもっと知りたい
- ⑥ 私たちの願いは









3. クイズラリー(場所:5階フロア)

5階フロアの各所に全5問のクイズを配置し、クイズラリーを行った。議員は子ども 議員とコミュニケーションをとり、時にはヒントを出しながら正解に導いた。「何がで っきょん!観音寺市議会」で学んだことを題材にしているので、答え合わせの結果正答 率は高かった。

今回は「市議会議員にひとこと」「学校に欲しいもの」を自由に書き込むことができる寄せ書きコーナーを設け、小学生の皆さんの自由な発想や視点からの声を聴かせていただいた。











クイズラリー中はクイズに答えるだけではなく、 議長席など各所で記念撮影をしたり、寄せ書きコーナーに テーマにあわせて書き込んだりして、楽しく探検しました!



4. 議員体験(場所:議場)

議長の進行により、以下の内容を行った。

- ① 議場の説明
- ② 表決ボタンを押してみよう 仮の議題を2問準備し、表決ボタンを押す体験をした。 2問目の仮の議題では賛成・反対が同数となり、議長裁決となる珍事が…。
- ③ 質問会 事前にお送りいただいた質問に対し、副議長・各委員長が答えた。
- ④ 記念撮影・アンケート記入

①議長による議場の説明 の様子





②表決ボタンを押してみよう の様子

▶1つ目の議案



議案第999号 観音寺市の小学生の夏休み期間の延長について 小学校の夏休み期間を2ヵ月にする提案です。

これから国際社会で活躍してほしい子どもたちに、早く海外の感覚を学んでほしいから提案します。

反 対!

授業の進み具合を 追いつかせるために 先生が大変! 給食が無いので、家 族も大変!



/ 賛成!

早くから海外に目を向けるのは大切! 普段学べないことや体験できないことにたくさん触れて欲しい!

▶2つ目の議案

議案第 1000 号 観音寺市の小学生の体調管理対策について 小学校の体育館にエアコンをつける提案です。 体育館を使う時、夏はとても暑かったり冬はとても寒かったりして大変だ から提案します。



「反対!

暑さも寒さも経験しながら身体が強くなるから、できるだけ自然な状態で過ごすほうがい!



賛 成 !

夏の暑さはだんだん酷く なっているから、熱中症 を防いで健康的に過ご すために絶対必要!



▼仮の議案2つについて、机に付いている表決ボタンを押す1日子ども議員のみなさん。















なんと、2つ目の議案は賛成と反対が同数に。 本物の議会と同じように、表決ボタンを押すことはできない議長が 可決するか否決するかを決めました。これを「裁決(さいけつ)」と言います。





③質問会の様子











事前に質問を送ってくれた17人の1日子ども議員が、 元気いっぱい質問を読み上げました。

ご答弁をよろしく お願いします!



各委員会の委員長と副議長(計7人の議員)が分担して 質問に答えました。(質問と答弁の一覧は別途公開しています。)







質問にお答えします!

【まとめ】

開催にあたり、本市議会では主権者教育の一環として昨年と同様に以下の2つの目標 を掲げた。

- ① 私たちが暮らすまちの政治や社会に関心を持ち、それらを自分事として考え、 主体的に参加する態度を養うこと。
- ② 議会を身近に感じてもらうとともに、市民の声がこのまちを動かしていると 実感してもらうこと。

この2つの目標を達成すべく、昨年の内容を踏襲しつつブラッシュアップして、議会に触れるきっかけや意見を発するきっかけとなるような見学会を小学生と保護者を対象に企画した。

小学生からは「楽しかった」「議会のことがよく分かった」などの声をいただき、保護者からは「中学生でも開催して欲しい」など、市議会の主権者教育へ深くご理解をいただけていることを感じられるようなご要望もあった。

本市議会においては2年連続の開催となったが、全議員の協力により今回も成果を得たと感じられた。

今後もより「開かれた議会」となるよう邁進するとともに、「市民の声に耳を傾ける議会」として記まず取り組んでいく。

